

Neues in Nara

Nr.43

2013年4月30日

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daijanji.or/jdgn/index.html>

編集委員：林 (hayashi@mercury.sannet.ne.jp) 峯本 (hmine-24@m3.kcn.ne.jp)



“これは会員相互のコミュニケーションツールです。皆様からの情報は編集委員へ”

●行事報告

1. ドイツ・チューリンゲン州の男声合唱団「アルスマジカ」&ソプラノ岡田由美子ジョイントコンサート

日時：4月21日(日)15時～16時30分

場所：図書情報館2階メインエントランス

主催・県立図書情報館、共催・奈良日独協会

後援・ドイツ連邦共和国総領事館

「アルスマジカ」一行30名は4月12日来日、日本各地でコンサートを行い奈良には同21日(日)来訪、当協会会員の案内で東大寺・大仏殿から鐘楼、二月堂を散策した。幸い晴天にも恵まれ和気藹々と春の奈良を満喫、親睦を深めた。昼食に全員で釜めしを味わった後、図書情報館で日独交流のコンサートが行われた。立見席を入れて400人を超える入場者の見守るなか、有山正子さんの琴演奏で始まり、「アルスマジカ」合唱団による伝統に裏打ちされた荘重な教会音楽とドイツ民謡が披露され、会場から大きな拍手がおくられた。



日本歌謡の部では、ソプラノ歌手岡田由美子さんが北口裕子さんのピアノ伴奏に乗せて、東日本大震災復興支援の歌「花は咲く」、オペラ蝶々夫人からアリア「ある晴れた日に」など次々と名曲を披露され、会場は熱気に包まれた。コンサートの後の交流会ではスナックを囲んで歓談、大いに盛り上がり、なごりを惜しみながら一行は深夜のフライトで帰国の途についた。図書情報館には、会場の設営を初めとしてコンサート開催に格別の便宜を図って頂き厚く御礼申し上げます。

2. ケルン大学ラインシュタイン学生会一行来奈

ラインシュタイン学生会一行36名が、3月26日(火)夕刻大安寺を訪問された。一行は物故者法要の後、朱雀高校生徒による和太鼓演奏を楽しみ、引き続き同寺の会館で開かれた交流の食事会で、奈良日独協会理事と旧交を温める談笑の輪が広がった。因みにラインシュタイン学生会と当会との交流は50年前(1962年)に始まり、その後ほぼ10年ごとに来日、大安寺で交流行事を開催してきた。

●行事予定

奈良日独協会・平成25年度年次総会(別途案内状送付済)

日時：5月12日(日)14時30分～16時

場所：大安寺

会員の皆様、万障お繰り合わせの上ご出席願います。尚、平成25年度の会費(個人2000円、法人一口4000円)の納入手続きを頂きますようよろしくお願い致します。

●会員だより

水野恵理子さん「ドイツ語会話学習会へのお誘い」

会場 奈良市西部公民館講座室

講師 Manuela Yamane 先生

原則として毎週火曜日

基礎 9:30～10:30 応用 10:40～11:40



昨年までは学園前駅から徒歩5分、古いビルの1室をお借りしていたのですが、諸般の事情から学園前駅南口すぐの西部公民館に会場を移すことになりました。公民館を使うには自主活動グループとして規約が必要です。そこで会長のNさんが知恵をしばって作って下さった条文には「目的：ドイツ語習得に興味を有する会員が相互に研鑽しドイツ語会話を高めて…」と。その研鑽ぶりを基礎クラスの皆さんにうかがってみました。すると、一応はテキストを使うもののいつも脱線、とくに食べ物のお話なんか出てくると一段と盛り上がりますます軌道をそれていくとか。メンバーは女性4人。たしかに講座室の前で待っていると、Manuela先生と皆さんの楽しそうな笑い声が聞こえてきます。

あとに続く応用クラスはといえば、先生の持ってきて下さったテキストが langweilig(退屈)だの zu schwer (難し過ぎ)だのと言っては予習を怠り他の話題に引きずり込もうとする女性2人と、語彙力・文法力を誇る正統派(?)男性2人が絶妙なバランスをとってドイツ語会話を磨いています。そして Semester の最終日には両クラス打ちそろって食事に出掛けたり、クリスマスには持ち寄りパーティーをしたり、と交流も。とても和やかなドイツ語会話学習会です。

入会ご希望の方は中井さん(0742-62-0126)までご連絡ください。

●新入会員の紹介

山本伸二さんと芹沢友香さんが入会されました。